

厚木稲門会だより

発行： 早稲田大学厚木稲門会

事務局 神奈川県厚木市戸田1452-9

朽木 達 気付

Tel/Fax 046-228-1185

発行人：吉成征一 編集人：鈴木清一

平成28年度 定期総会開く 講演会・懇親会も盛大

平成28年度厚木稲門会の総会・講演会・懇親会が、10月8日(土)にレンブラントホテル厚木で開催された。総会には51名が出席し、午後3時に大貫玉美幹事の司会で始まった。恒例により吉成会長が議長に選出され、次の3項目が審議・承認された。

- 1 報告事項 (伊保幹事長)
 - ・平成27年度活動の概況報告
- 2 承認事項
 - ・平成27年度収支決算報告 (東方会計幹事)



- ・会計監査報告 (高坂会計監査)
- 3 審議事項 (伊保幹事長)
- ・平成28年度活動計画
 - ・役員改選(「役員名簿」参照)
- 総会終了後講演会が行われ、会員・来賓及び一般参加者15名を加え計87名が出席した。

講師は厚木高校出身、早稲田大学教育・総合科学学術院教授の大津雄一氏で、「『平家物語』の世界―父と子の物語―」と題し、NHK大河ドラマを始め映画、小説などでたびたび取り上げられた『平家物語』の世界をご講演いただいた。(詳細は別掲)

会場を移し、引き続き大貫幹事の司会のもと懇親会が開催された。出席者は、早稲田大学、慶応厚木三田会、県下各稲門会、講師及び会員同伴者を含め72名であった。



吉成会長の挨拶の後、厚木高校出身の早稲田大学本間知佐子地域コーディネーター及び慶応厚木三田会高橋徹也会長のご挨拶を頂き横浜稲門会大須賀三雄会長代行の乾杯発声の後、歓談に入った。

初参加者名の紹介の後、最後に「都の西北」を斉唱し、鈴木副会長の挨拶で閉会となった。

なお、本年度より来賓へのお土産は中止し、それに代えて大学への寄付金を支出することとなった。(S52文 小林 孝雄)

講演会 『平家物語の世界』

講師 早稲田大学教授 大津雄一氏 (S52教育)

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。」

日本人なら誰でも知っているこの有名な書き出しで始まる『平家物語』ですが、講師の流れるような朗読に会場は一気に中世文学の世界に誘われました。

ご承知のとおり『平家物語』は平家の栄華と没落を描いた軍記物語ですが、講師は源平の戦いを追いつきながら今回のテーマである「父と子の物語」の舞台として、「敦盛最後(あつもりのさいご)」の段を取り上げます。

軍功にはやる熊谷次郎直実が弱



冠17歳の平敦盛を討つ、その時に敵味方を超えて去来する「父と子の情感」を丁寧に解説いただき、会場は深い感銘に包まれました。日本人の心情に深く根差し、長く愛されてきた『平家物語』の魅力の一端を見た気がしました。講師にとっても久しぶりの故郷の地で熱演でした。

(S52文 小林 孝雄)

会長あいさつ

吉成 征一 (昭35文)

厚木稲門会は、昭和51年(1976)和田傳氏を初代会長に発足して以来、本年で40年を迎えました。



この間、会員相互の親睦を図ると共に、母校早稲田大学をはじめ関係各位には、多大なご支援ご協力を賜りましたこと、厚く感謝と御礼を申し上げます。今後も諸先輩や関係各位のご指導を戴きながら、会員一同、同好会の活動等を通じ、親睦と交流の和を深め併せて、地域社会にも貢献できる有意義な活動をしてゆきたいと念願しております。

秋公演は1ヶ月前に完売！
扉座が今年も新作2作品を公演

当会会員の横内謙介氏が展開する厚木シアタープロジェクトでは、6月18日・19日に『郵便屋さんちょっと』を公演。この作品は『つか版・忠臣蔵』に続き、幻冬舎・見城社長のバックアップを頂いてつかこうへいの初期作品に挑んだ新作。TV『相棒』でも活躍の劇団員・山中崇史氏を主演に置き、つか演劇を彷彿とさせるマシンガントークも炸裂、体力ギリギリの熱演に一同圧倒されました。

11月19日・20日は『歓喜の歌』を公演。映画やドラマにもなった立川志の輔さんの新作落語を舞台化した新作で、劇団の看板・六角



精児氏が主演、扉座再登場の酒井敏也さんを客演に迎え、ベテラン俳優の絶妙な演技を楽しみました。(写真撮影：宮内勝)。チケットは1ヶ月前から完売で、東京両国ツアーを経て厚木で大千秋楽を迎え、感動のカーテンコールとなりました。(S62政経 藤野 心)

厚木稲門会短信

秋季代議員会から

10月8日、秋季代議員会が大隈講堂で開催された。鎌田総長と福田校友会代表幹事の挨拶の要旨は以下の通りである。

鎌田総長の挨拶『早稲田の世界化が進み、9月入学の998名中留学生が828名、在籍全留学生数は13,324、本年卒業生数13,632に匹敵。奨学金の増額も大きな要因、今後も教育の充実に努める』

福田校友会代表幹事の話『校友会の発足は131年前、会員数61万人今年「稲門医師会」が誕生した。奨学金は326人に支給。』

(S38商 横田佳正)

レディースの会 講師 仙波由加里 (H15人間科学院)
講演『バイオエシックス(生命倫理)の最前線』 11月11日

バイオエシックス(生命倫理)の最前線について、若手研究者の仙波由加里さんにご講演いただきました。女性校友だけでなく、男性校友、他団体からも広く16名の参加がありました。

女性が社会でキャリアを確立しようとする、妊娠、出産が遅くなる傾向があり、それが不妊に結びつくこともあります。不妊の問題を解決するために様々な医療技術が開発され、子どもが欲しいと願う切実な思いに答えてきたのは



事実です。ただ、いま現場で行われている不妊治療の数々はかなりショッキングな内容。技術の進歩の一方で、社会的・法的・倫理的な問題の大きさに、人間とは何かを問い直さずにはいられませんでした。(S57 文 草薙祐子)

日本語ボランティア

はじめまして〇〇です、どうぞ宜しく。お国はどちらですか？こんな会話から始まる日本語ボランティア。現在当会会員が厚木市で4名、座間市の教室で1名講師として活動しています。

週1回1時間半の授業ですが熱心な受講者につられ時間の経つのを忘れてしまいます。「自分に日本語なんか教えられるかな？」とお考えの方、ご心配無用。最低4日の講習を受ければ、その後は魔法の絵カードがあります。異文化と接する楽しみも大、貴方も参加されては。(S41 商 草山洋一)

稲句会 定期的な吟行も定着

俳句は座の文学と言われており、大勢が一堂に会し、喧々諤々の論議をすることが楽しい。俳号をつけて参加するのも職業、地位、年齢などに関係なくするための工夫だった。俳句は作る人だけでは良い句は出来ません、作られた句を読んで良い評論をする読み手が居てはじめて名句が生まれます。

稲句会も発足して2年が経ち、毎月末には7,8名の方より作品が送られて来るようになり、上達著しい人も出てきています。すでにまったくの初心者はいなくなっ

たように思いますので、そろそろ月1回の定期的な句会をやりたいと思っています。

興味はあるが、どうしたら良いかまったく分からないという方のための入門講座なども実施する予定ですので、俳句作りは初めてという方もぜひ参加して下さい、歓迎いたします。

季語と親しむことにより、季節の移り変わりに敏感になり、より豊かな生活を送れるようになること間違いありません。

(S41理工 本杉純生)

ソフトボール同好会

ソフトボール同好会は現在茅ヶ崎稲門会ソフトボール同好会に参加する形で活動しています。ソフトボールといっても60歳以上が参加資格の老人向けで安全なものです。ボールも一般的な3号ボールより2回りほど大きい4インチ仕様で投手は山なりのボールを投げなくてははいけません。また各ベースは2個ずつ連結してあり打者と守備者が交鎖しない安全なものです。練習は月に3~4回茅ヶ崎市内であり、試合は年間20数試合あります。(S45 法 伊保朝夫)

英会話同好会

英会話同好会は、毎月2回月曜日の午後3時から90分間、厚木のamyuでレッスンをしています。

マレーシア出身で子育て中の若いお母さんのジョイさんが2代目の先生になって2年目になります。彼女が持参する毎回テーマを絞ったテキストをコピー配布して、勉強しています。またそれを始める前にまずは各人の近況を一人ずつ英語で語り、それについて先生や周りが質問や感想や関連の話題を

述べるという時間があり、これが勉強になり、また楽しく笑い声が絶えません。英単語が出てこないときはつい日本語を使ってしまいますが、それもOKの気楽な雰囲気同好会です。教室に先生がつれてくるベビーも2年たち今は元気に教室の中を歩き回り、場を和ませてくれています。現在会員は5～6名で、常時参加者募集中です。皆様と一緒に英会話で遊びませんか？ (S44政経 東方勝彦)

ハイキング同好会

春秋2回実施



ハイキング同好会は5月21日好天の下、狛江～喜多見駅コースにて実施。7家族9名が参加。度々の氾濫であばれ川と異名をとった野川ですが、今は変化に富んだ緑地公園に変身。狛江駅を出発した一行はこの野川緑地公園をゆったり歩き、新しい野川を折り返して喜多見駅にゴール(約6.4km)。野川ではみごとな鯉が群れをなし、この日はカワセミ目当てのカメラマンも大勢陣取っていました。

10月22日には町田駅芹ヶ谷公園コースを9家族12名で散策。芹ヶ谷公園を通って恩田川沿いを歩きました。公園に戻りランチという約7kmの行程でした。駅から遠くない場所に立地し、国際版画美術館を擁する自然豊かな同公園をたっぷり満喫して帰りました(写真)。のんびりハイキングは健康目的に加え、歩くトークサロンとしても楽しめします。ぜひご参加ください。

(S62政経 藤野 心)

囲碁同好会 (オール早稲田囲碁祭でC組優勝)

今年のハイライトは6月4日に東京市ヶ谷の日本棋院本院で開催された第16回オール早稲田囲碁祭でのCクラスで優勝したことです。関東地区の稲門会から36チームが参加。棋院2階の大広間を満杯にして熱戦を展開しました。厚木チームは、文京・国立・太田を相手に三連勝。決勝で杉並中野Bを破って優勝を果たしました。参加メンバーは、北園七段、筒井五段、小林四段、吉成四段、猪熊二段で筒井五段・小林四段は四戦全勝の大活躍でした。

囲碁同好会としては本厚木囲碁クラブにて5月15日に春季囲碁会



を開催し参加者9名、10月23日には秋季囲碁会を開催し7名の参加者でそれぞれの一日を囲碁三昧で楽しく過ごしました。

来年も5月に春の囲碁会を開催致しますので初めての方でも気楽にご参加頂きますようお願いしております。(S41法 猪熊克行)

新企画『トークサロン』好評です

様々な分野で活躍された当会の会員に貴重な経験を語っていただき、その後、食事をしながら歓談する会を昨年11月より開始したところ、毎回15名前後の出席があり、皆さんから好評をいただいている。実施日、スピーカー、テーマは下記の通り。

[H27年度下期]

第1回：H27年11月28日

朽木 達さん (S43理工)

『8年間の中国での実体験』

第2回：H28年1月16日

川鍋健次郎さん (H29 文)

『我が武道観』

第3回：H28年2月21日

草薙祐子さん (S57 文)

『女性のキャリアアップ、
キャリアチェンジと資格』

[H28年度上期]

第1回：H28年7月2日

雑賀哲治さん (S47政経)

『二つの町』(豊橋と厚木)

第2回：H28年7月30日

鈴木久昭さん (S27理工)

『前人未踏のブルドーザーによる
富士山頂への登坂に挑む』

[H28年度下期] *予定を含む

第1回：H28年11月20日

岡部 清さん (S27 文)



『厚木市小野の小町神社に伝わる
「伝説」を調べる』

第2回：H29年2月25日

小澤秀通さん (S50 商)

『地域福祉について』

◇トークの概要はホームページに
(S39政経 二見正春)

川崎稲門会主管の県支部大会

厚木稲門会から21名出席

平成28年度神奈川県支部大会が川崎稲門会主管により、平成28年11月5日(土)川崎日航ホテル(JR川崎駅前)にて開催された。県下14稲門会から約400人参加、厚木稲門会からは21人の参加であった。

大会は入場式に続き、島岡栄基川崎稲門会会長の歓迎の言葉、北憲五神奈川県支部長(横浜稲門会会長)の挨拶、来賓・県支部役員紹介と続いた。来賓挨拶は鎌田薫早稲田大学総長で「早稲田大学のめざすもの」のスライドを活用して、大学の現状とWaseda Vision 150などの説明があった。

講演はオペラ歌手の岡村喬生氏(昭29政経)で「ドレミも知らずにオペラ歌手に」と題して行われた。1931年東京生まれ。新聞記者を目指して入学したが、声の大きいを見込まれ大学でグリークラブに誘われたことをきっかけに歌の道に。早大に入ってよかった、早大には何をやってもよいという自由な気風があった。グリークラブに入ってよかった。声の高さが違う4人が集まるまで待ってコールユーブンゲン(合唱練習書)をやるとおもしろかったとのこと。

懇親会は黒岩祐治知事、福田純彦川崎市長、市川緋佐磨川崎三田



会会長の祝辞。岡本宏一校友会常認幹事の挨拶。山下秀男川崎稲門会名誉会長の乾杯の音頭で開始。アトラクションは東京稲門グリークラブで爽やかな宴となった。

最後は大学応援部のリードによる校歌斉唱で散会した。

(S50 商 小澤秀通)

テニス同好会 テニスと懇親で健康増進



奇数月第1土曜日開催予定のテニス同好会活動は11月は県支部大会と日程が重複したため第2土曜日になりましたが、それ以外は雨で延期されることもなく、年6回

宇田校友宅「マーガレットコート」で開催されました。昨年後半からは10名を超える参加者があったため、1面のコート回転を速めるため「4ゲーム先取試合」や、ジュースは1回までに制限したりと苦慮しましたが、今年は1月の12名を最多に以降はやや減少し、毎回5~6名で年間延べ39名の参加者となりました。

一汗の後、昼食は恒例の「竹葉亭」で手打ち蕎麦、天婦羅・ビールを楽しみながら、豊富な経験に

基づく蘊蓄ある会話で懇親を深め、青春(老春?)を取り戻しました。

2ヶ月に1度では物足りないとの声もあり、会員の希望がある場合は偶数月第1木曜日13時から有志が集まり真剣勝負の熱闘を繰り広げています。次回例会は平成29年1月7日(土)正午からの予定です。

テニス初心者は勿論、昔話と蕎麦を楽しみ健康維持だけを期待したい方も気軽にご参加下さい。

(S41 商 渡邊 東)

歌って笑って長生きできる！ ♪カラオケ同好会 ♪

カラオケ同好会は、5月31日と11月8日の年2回本厚木駅前のビッグエコーでカラオケ会を開きました。時間は12時から始めてほしい4時頃までの4時間。

参加者は春、秋の会ともに同じ9名で前年秋の12名からは残念ながら3名減少しました。しかし救いは女性の参加が春秋とも1名ずつあり、秋は初参加の方もおられ同好会の役目の一つを果たせたのかなと思います。少人数でしたが落ち着いてたくさん歌えてこれでもいいという方もおられます。私は

演歌しか歌えませんが、集まった方は戦前の軍歌や戦後の懐かしい歌、最近の(最新ではない)ニューミュージック、はたまた英語の歌などジャンルもいろいろです。順番にマイクを回して、もちろんパスもOKで一人7、8曲自慢のものを披露して最後は都の西北や紺碧の空を歌ってお開き。尚、せひホームページも見て下さい。ここで書ききれなかったことを載せておりますので、楽しい雰囲気が伝わるとと思います。歌を歌うことは口を動かすので老人に多い食物



の誤嚥の予防になり、また歌詞を覚えたり、歌のはやった昔を回想したりすることで認知症の予防に効果があると医療現場で活用され始めています。ご参加お待ちしております。(S44政経 東方勝彦)

ゴルフ同好会

38回厚木稲三会ゴルフ(早慶懇親ゴルフ)



第38回参加者

5月の第37回稲三会ゴルフに次いで今年2回目となる第38回稲三会ゴルフコンペが10月12日(水)に本厚木カンツリークラブにて紺碧の空のもと行われた。厚木稲門会：15名、慶応厚木三田会：6名、計21名の参加。アウト・インに分かれての同時スタートでの競技となった。グロススコア上位者が上位となる傾向を避けようと前回同様隠しホールが9個の「新新ペリア」を採用した。

参加者全員の平均ネットスコア一での団体戦は前回の第37回と同じ「1.6ポイント」の僅差で三田会の勝利で、稲門会は昨秋から3連

団体優勝：三田会、個人優勝：三平氏敗中。個人戦での優勝は三平治憲氏(K)、3位(三田会賞)は井萱修三氏(K)、10位(稲門賞)は草山洋一氏(W)、13位(稲三会賞)は寶神正明氏(W)と賞を分け合ったものの上位は三田会に譲る結果となってしまった。

三田会からの参加は8名の予定のところ、都合で2名が不参加となり、6名でした。今春は参加者4名でしたので、稲門会から「予戦会の上位者?だけでなく、広く参加者を募って頂き、早慶バランス人数」のお願いをした。次回は来春5月17日(水)大厚木CCの予定 (S37理工 鈴木清一)

稲門祭

第51回ホームカミングデー

2016年稲門祭が、10月23日(日)に開催された。

今年のテーマは、「Welcome to Waseda Wonderland一人・国・時を超える、進取の聖地ー」である。

青く澄み切った好天に恵まれ、1万人以上の校友で大変な盛り上がりとなった。

「稲門祭」は稲門祭実行委員会(なんと実行委員180名!)主催の校友会最大の祭典であり、卒年に関係なくOB、OG、家族誰でも参加できるイベントだと知った。今回は、大学敷地内400本の「のぼり」を管理する役目をいただき初めて参加。キャンパス内に所狭しと並んだ模擬店と溢れるばかりの校友の皆様の賑わいにびっくりであった。

講演・音楽等様々な企画があり、久々に「早稲田」を感じパワースポットに来たような元気をもらった。皆様、来年は是非参加されることをお勧めします。

稲門祭限定の記念品購入にご協力いただいた皆様、この収益は未来の早稲田奨学生に全額充てられるとのことでした。

我が“厚木稲門会” 今年で40歳を迎えました



【設立総会で挨拶する和田初代会長

昭和50年も暮れのこと、数人の有志が集まり、共に早稲田の杜で青春を過ごした仲間が世代を超えて交流の輪を広げようという熱い思いで、校友の会発足に向けての準備会を立ち上げた。

対象の地域、役員組織、会員勧誘方法等を一年に亘り論議の末、成案されるに至った。

そこで昭和51年11月28日厚木市水引にあった割烹「三楽会館」にて67名の参加の下、設立総会が盛大に開催され”厚木稲門会”が誕生、初代会長に大正12年文学部出身の日本の農民文学を代表する作家、和田 傳氏が就任した。

以来40年の間に、2代鈴木好文氏(昭8年政経卒)、3代瀬戸俊孝氏(昭12年商卒)、4代大橋賢三郎氏(昭28年政経卒)、5代川鍋健次郎氏(昭29年文卒)へ、そして平成23年10月からは現職6代目会長吉成征一氏(昭35年文卒)へと脈々と会長のバトンが引き継がれてきた。そして現在、50年目に向け一層魅力ある会に発展すべく活発に活動を展開している。

(昭35 商 斎藤安功)

稲句会員の句集

平成28年度 稲句会作品より

選：本杉純生

- 降りしきる落ち葉の空の
青さかな 吉成 征一
- 海よりも藍き空あり
鯉のぼり 草薙裕子
- 語り部の減りゆくばかり
終戦忌 高坂義郎
- こうろぎの声静まりて
朝刊来 東方勝彦
- 新緑や総帆ひろげ
日本丸 田中健生
- 春の鹿足音だけが
ひびきけり 伊保朝夫
- 丹沢をすっぽり覆う
梅雨の雲 朽木 達
- 山葵田の雪解け水や
山青し 堀 美知子

早慶合同夏の懇親会開く

アトラクションはハーモニカアンサンブル『8連符』

心地よい梅雨晴れの6月18日(土)早慶夏の懇親会がレンブラントホテルにて開催された。17回目となる今年厚木稲門会の主催で、当会から37名、三田会からは28名が参加した。初めに双方会長の挨拶続いての乾杯、音頭は三田会の近藤顧問。しばし喉を潤した後は、初参加者の紹介。

さて恒例のアトラクションはハーモニカアンサンブル「八連符」による演奏、選曲も良く、「これがハーモニカ？」と思うほどであった。「コンドルは飛んでいく」ロック調の「白鳥の湖」や「また君に愛してる」そして懐かしい童



謡まで。素晴らしい演奏に”ブラボー”の声まで。懇親は回を重ねるごとに和やかさも加わり、美酒と相俟って、楽しい会話も弾んだ一時であった。最後は両校の校歌を「八連符」の皆様も加わって斉唱。稲門会の鈴木副会長の閉会の辞で幕を閉じた。

(S41教育 中川匡子)

厚木稲門会活動計画

(平成28年10月1～29年9月30日)

【全体行事】

28年度総会 H28. 10. 8

早慶夏の懇親会 H29. 6

【分科会活動】

＜同好会活動＞

＜ゴルフ同好会＞

第38回稲三会コンペH28. 10. 12

第39回稲三会コンペH29. 5

第8回早稲田大学ゴルフ大会
H28. 11. 4

＜テニス同好会＞

定例会 奇数月第1土曜日

ウインクルトン例会 H28. 11. 12

＜ハイキング同好会＞

のんびりお気まま H28. 10. 22

のんびりお気まま H29. 5

＜ソフトボール同好会＞

茅ヶ崎稲門会ソフトボールに
参加

＜囲碁同好会＞

秋季囲碁大会 H28. 10. 23

春季囲碁大会 H29. 5

＜稲粋会＞

酒造めぐり H28冬

大山酒祭り H29. 5

＜カラオケ同好会＞

H28. 11. 8

H29. 5

＜厚木稲句会＞

投句形式 毎月20日締切

吟行 春・秋開催

＜英会話＞

毎月2回開催

＜トークサロン＞

H28. 11. 20

H29. 2. 25

＜レディースの会＞ H28. 11. 11

H29春

＜社会貢献活動＞

＜日本語教育講師＞ 毎週1回

＜テニスボールボランティア＞

【校友会関係】

神奈川県支部大会 H28. 11. 5

商議員会、代議員会、県幹事会

稲門祭、県下各稲門会の総会にも幹事を中心に適宜出席予定

【平成29年度】

29年度総会、講演会、親睦会

H29. 10

(S45 法 伊保朝夫)

稲粋会 「来年も」

呑み過ぎを自省した訳ではないが、今年は呑む企画回数が少し減り、幹事として自省している。新しい年の最大の目標は、県内全酒蔵訪問の達成である。

地元の酒蔵から始まって、残りは、あと三蔵となった。そこで出来るだけ早く目標を達成したいと改めて決意している。日本酒は最近、映画等にもなったように日本だけの飲み物から世界のものになりつつある。しかも女性の愛飲家が、大層増えてきている。そこで当サークルでももっと増えてくれることを期待している。



毎年、足を運んでいる大山の酒祭りも、今年大山詣りが日本遺産に登録され深みを増した。新しい年もその遺産を拝みつつ、当酒名人が増えることを期待している。そして、県内支部の同好会とも輪を上げたいと願っている。新しい年も宜しく願っています。

(S35 法 高坂義郎)

事務局だより

◎会員の異動

(27年10月1日～28年10月30日)

期初187名から高齢、転居により9名の退会がありました。

今期は特別募集を(2年に1回実施)を行わなかった為、新入会員は1名に留まりました。

11月末現在の会員数は179名です。

◇新入会員の方

藤森 紘一様(S42 商)

□新入会員大募集

今年は新入会員特別募集の年

出来立ての「厚木稲門会だより」を持って幹事が未加入の校友宅を訪問します。平成29年12月号に今年度の新入会員は〇〇ですと書けるのが今から楽しみです。

◆事務局が代わりました。

平成28年10月の総会で事務局長が交代しました。

新事務局は

〒243-0023 厚木市戸田1452-9

朽木 達 気付 厚木稲門会

Tel 046-228-1185

(S43理工 朽木 達)